

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第3814298号  
(P3814298)

(45) 発行日 平成18年8月23日(2006.8.23)

(24) 登録日 平成18年6月9日(2006.6.9)

(51) Int. Cl.		F I	
<b>B 6 5 D 47/26</b>	<b>(2006.01)</b>	B 6 5 D 47/26	B
<b>B 6 5 D 55/06</b>	<b>(2006.01)</b>	B 6 5 D 55/06	
<b>B 6 5 D 77/20</b>	<b>(2006.01)</b>	B 6 5 D 77/20	R

請求項の数 26 (全 11 頁)

(21) 出願番号	特願平9-507198	(73) 特許権者	テトラ・ゲーエムペーハー
(86) (22) 出願日	平成8年7月19日(1996.7.19)		ドイツ連邦共和国、デー-49324 メ
(65) 公表番号	特表平11-509813		レ、ヘレントアイヒ 78
(43) 公表日	平成11年8月31日(1999.8.31)	(74) 代理人	弁理士 津国 肇
(86) 国際出願番号	PCT/EP1996/003184	(74) 代理人	弁理士 渡辺 睦雄
(87) 国際公開番号	W01997/005034	(74) 代理人	弁理士 篠田 文雄
(87) 国際公開日	平成9年2月13日(1997.2.13)	(74) 代理人	弁理士 佐伯 とも子
審査請求日	平成15年7月4日(2003.7.4)		
(31) 優先権主張番号	19527224.2		
(32) 優先日	平成7年7月26日(1995.7.26)		
(33) 優先権主張国	ドイツ(DE)		

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 包装用コンテナ

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも1つの開口部(9)を備えた少なくとも1つの上面(7)を有する少なくとも1つの流動製品の取り込みのための容器(2)を、含む包装用コンテナ(1)であって、容器(2)の上面(7)を覆う位置に、容器(2)に対して移動可能な状態で装着され、容器(2)の上面(7)に設けられた開口部(9)と位置合わせ可能な少なくとも1つの開口部(16)を有するカバー部材(3)と、

容器(2)及びカバー部材(3)上に押し当てられ、カバー部材(3)と容器(2)の互いに対する動きが密封手段の取り外し又は引裂の後のみ可能であるように、容器(2)及びカバー部材(3)を互いに拘束する、少なくとも1つの離脱可能な密封手段と、

密封手段に備えられ、1つの開口部(16)を閉鎖するか、又はカバー部材(3)に設けられた開口部のうち少なくとも1つを閉鎖し、その除去の後、これらの開口部を解放状態にすることのできるゾーン(18)と、

密封手段に備えられ、ユーザーが容易にアクセスし、そこから密封手段の取外しを開始することのできる捕握ゾーンと、

を備え、

1つの開口部(16)を閉鎖するか又はカバー部材(3)に設けられた開口部のうち少なくとも1つを閉鎖するゾーン(18)が、同時に捕握ゾーンとして機能する包装用コンテナ(1)。

【請求項2】

10

20

密封手段は、上面(7)を縁取る容器(2)の側壁をカバー部材(3)とその周囲全体にわたって連結している、請求項1に記載の包装用コンテナ(1)。

【請求項3】

密封手段がシール(4)から構成される、請求項1または2に記載の包装用コンテナ(1)。

【請求項4】

密封手段が、シール(4)と、容器(2)の上面(7)を縁取る側面上に適用された製品ラベル(5)とから構成され、

シール(4)と製品ラベル(5)とが、ユーザーが容易に引き裂くことができるように設けられた引裂ゾーン(19)によって、離脱可能な形で連結されている請求項1または2に記載の包装用コンテナ(1)。

10

【請求項5】

引裂ゾーン(19)が、シール(4)とラベル(5)との連結部分の全周にわたってあけられたせん孔によって実現されている、請求項4に記載の包装用コンテナ(1)。

【請求項6】

引裂ゾーン(19)が、シール(4)とラベル(5)との連結部分の全周にわたって設けられた、1本の脆弱ラインを形成するようにへこみのついたラインとして実現されている請求項4に記載の包装用コンテナ(1)。

【請求項7】

シール(4)及びラベル(5)が、引裂ゾーン(19)内で互いと接着する形で連結されている、請求項4に記載の包装用コンテナ(1)。

20

【請求項8】

シール(4)が樹脂製フィルムで作られている請求項3～7のいずれか1項に記載の包装用コンテナ(1)。

【請求項9】

シール(4)が接着フィルムで作られている請求項3～7のいずれか1項に記載の包装用コンテナ(1)。

【請求項10】

シール(4)が紙で作られている、請求項3～7のいずれか1項に記載の包装用コンテナ(1)。

30

【請求項11】

容器(2)が、その内部で分離した仕切りを形成する中間壁(8)を有し、この仕切りが各々少なくとも1つの上面(7)上に1つの開口部(9)を有している、請求項1～10のいずれか1項に記載の包装用コンテナ(1)。

【請求項12】

容器(2)の少なくとも1つの開口部(9)が、カバー部材(3)の少なくとも1つの開口部(16)のものと同じ形状及びサイズを有している、請求項1～11のいずれか1項に記載の包装用コンテナ(1)。

【請求項13】

カバー部材(3)が、容器(2)の少なくとも1つの開口部(9)と位置合せされ得る複数の隣接する開口部(16)を有する、請求項1～11のいずれか1項に記載の包装用コンテナ(1)。

40

【請求項14】

カバー部材(3)が隣接する複数の開口部を有するグループを複数有し、これらのグループにおいて、隣接する開口部の数及び開口部の直径について異なっており、1つのグループの開口部は、コンテナ部分(2)の少なくとも1つの開口部(9)と位置合わせすることができるようになっている、請求項1～11のいずれか1項に記載の包装用コンテナ(1)。

【請求項15】

容器(2)が、正方形の形状を有している、請求項1～14のいずれか1項に記載の包装

50

用コンテナ(1)。

【請求項16】

容器(2)が、実質的に曲線形を有する、請求項1～14のいずれか1項に記載の包装用コンテナ(1)。

【請求項17】

容器(2)が、円形の形状を有している、請求項1～14のいずれか1項に記載の包装用コンテナ(1)。

【請求項18】

容器(2)が、六角形の形状を有している、請求項1～14のいずれか1項に記載の包装用コンテナ(1)。

10

【請求項19】

容器(2)は、上面(7)と反対側の面に、流動製品を充てんするための開口部を有し、該開口部はベース(6)により閉鎖され得る、請求項1～18のいずれか1項に記載の包装用コンテナ(1)。

【請求項20】

上面(7)上の少なくとも1つの開口部(9)を通して少なくとも1つの注ぎ込み可能な製品を充てんできるようにするため、カバー部材(3)を除去することができる、請求項1～19のいずれか1項に記載の包装用コンテナ(1)。

【請求項21】

容器(2)の少なくとも1つの上面(7)に対してカバー部材(3)が可動な形で連結されている、請求項1～20のいずれか1項に記載の包装用コンテナ(1)。

20

【請求項22】

カバー部材(3)が、容器(2)の少なくとも1つの上面(7)に回転可能な状態で連結されている、請求項1～21のいずれか1項に記載の包装用コンテナ(1)。

【請求項23】

カバー部材(3)が回転継手を介して容器(2)に連結されている請求項22に記載の包装用コンテナ(1)。

【請求項24】

カバー部材(3)が、溝(12、12'、22)及びリム(11、11'、24)を用いて容器(2)に連結されている、請求項1～22のいずれか1項に記載の包装用コンテナ(1)。

30

【請求項25】

カバー部材(3)が更に、側壁の少なくとも1区分のまわりに延びるスカート区分(15、15')を有する、請求項1～24のいずれか1項に記載の包装用コンテナ(1)。

【請求項26】

カバー部材(3)を容器(2)に対して少なくとも1つの位置で止めることができるように容器(2)の周囲上のへこみ(13)の中に係合できるその内部リム周囲上の1つの特定の位置にある突出部分を、カバー部材(3)が有している請求項1～25のいずれか1項に記載の包装用コンテナ(1)。

【発明の詳細な説明】

40

本発明は、閉鎖手段を有する包装用コンテナに関する。

包装用コンテナの望まれない開包を防止するため、そして/又は許可無しでの開包が発生した場合にこの開包プロセスを不可逆的なものにし、これをその後のユーザーに示すため、さまざまな手段が技術的現状において提案されてきた。このような密封は、特に衛生的な条件が関与し製品の消費者が損傷を受けていない完全な商品を実際に手に入れることを望んでいる食品の包装において特に大きい役割を果たしている。

包装特に粉末香辛料、ハーブ又は粉末状の食品といったような注ぎ込み可能な商品用の包装として包装用コンテナを使用する場合、主として2つの密封方法が知られている。このような密封のうち第1のものを用いると、紙又はプラスチックのストリップが実際の容器上及びネジ込み式又は回転式カバー上に貼りつけられ、容器とカバーの相対的な動きが防

50

止される。それでもこのようなシールは、カバー及び容器の一部分を互いに連結するにすぎず、したがってこれらが離れた痕跡を全く残すことなくこれらを取り外し再度設置することが可能であるという一般的欠点を有している。中に入った注ぎ込み可能な製品を注ぎ出すため、実際の容器内の対応する開口部と位置合せされ得る単数又は複数の開口部をカバー部材が有しているような包装用コンテナにおいては、これらのカバー開口部の不衛生な汚損は予防されていない。湾曲した側面に付随する更なる欠点は、付着シールの取外しがユーザーにとってより困難なものであるという点にある。技術的現状に基づく前記第2の実施形態の場合、シールは、注ぎ込み開口部の上に貼りつけられる。このシールは、関係する包装用コンテナな機械的閉鎖手段として作用するネジ込み式又は挿入式カバーの下、又は上述の開口部が備わった上述のタイプのカバーの上、のいずれにでも位置づけすることができる。第1の場合、製品の買い手つまりユーザーは、カバーをネジ戻すか又は取外した後にシールが取外された又はシールに手が触れたか否かを知ることしかできず、第2の場合では、カバーの動きは無くなっていないため、関係するカバーは、再充てんのため取外し可能な場合、シールが損傷を受けることなく実際に取外しし再度設置されることが可能となる。この場合も同様に、顧客は、包装用コンテナに手が触れたか否かを見ることができない。

10

したがって、カバー開口部を伴う包装用コンテナの開包を防止し同様にカバー開口部の衛生状態をも確保しかつ顧客の手が触れたことを不可逆的に示すような、例えばシールといったような取外し可能な閉鎖手段に対するニーズがなおも存在している。

したがって、本発明は、包装用コンテナの開包を防止し、しかも関係する包装用コンテナの健全性を表示するものとしても機能し、同時に包装用コンテナのカバー部材内の開口部を衛生的に密封する、包装用コンテナ上の閉鎖手段の製造をその目的としている。

20

この目的は、独立クレーム1に従った閉鎖手段を伴う包装用コンテナを製造することによって達成される。本発明の更なる有利な設計は、従属クレーム、明細書及び添付図面から明らかになる。

本発明に従った包装用コンテナは、以下の通りである：

- 香辛料、小麦粉、干し魚食品などといった注ぎ込み可能な製品又は商品のための実際の容器（以下「容器と呼ぶ）。関係する容器は、例えば主要表面、例えばその上部表面内に、それを通して注ぎ込み可能製品を注ぎ込むことのできる単数又は複数の開口部を有している。

30

- 実際の容器及び/又は閉鎖手段に連結され、容器との相対的な動きが防止されるようになっている、例えばカバーなどといった閉鎖手段。

注ぎ込み可能製品は、密封手段が取外されているかぎり、容器及び閉鎖手段の中の開口部を位置合せすることによって、関係する包装用コンテナから取り出すことができ、密封手段が取外された時点で関係する包装用コンテナを傾けることによって、注ぎ込み可能製品は重力の作用下で流れ出る。

関係する実際の容器は、閉鎖手段の適用及び閉鎖手段及び容器の相対的な動きに役立つような任意の適切な形状を有してよい。したがって開口部を伴う関係する容器の上部表面は、例えば矩形、正方形又は四辺形であっても、又六角形又は曲線形であっても、印形又は円形であってもよい。本発明の特に有利な実施形態においては、開口部を伴う容器の上部表面は、円形又は六角形のいずれかである。したがって関係する容器の形状は好ましくは円筒形又は六面体である。

40

関係する容器はそれでも、例えば頭が切られた円錐形状のような反対側の面とはサイズの異なる上面を有してもよい。

関係する容器の少なくとも1方の面は、注ぎ込み可能製品がそれを通して流れることのできる少なくとも1つの開口部を有する。それでも、この面内に複数の開口部がある可能性もある。これらの開口部は、例えば、きわめて少量を注ぎ込むため1つの特定の開口部の選択を可能にするため異なるサイズのものであってよい。かかる開口部は、例えば穴のグループとして実施でき、かくして、注ぎ込み時に通る穴のサイズ又は数を変えることによって、注ぎ込まれる量を変動させることが可能である。

50

これらの穴は、特定の用途のため異なる形状を有し得る。例えば、それらが円形又は印形、矩形であることが好ましい場合もあればその他の形状を有することが好ましい場合もある。

同様にして穴の数及びサイズ及び形状は、関係する注ぎ込み可能製品のタイプによって決定され得る。したがって、1つの注ぎ込み可能製品について、もう1つの製品に比べ、もう1つの開口部形状、サイズ又は数が有用であると判明するという事態が起きる可能性もある。

関係する容器は、複数の分離された容器区分を形成する内部仕切りを備えてもよい。この仕切りは1つの容器の中に注ぎ込まれた異なる製品の同時封じ込めを容易にする。このような場合、各々の仕切りは、製品の選択的な抽出を可能にするため上面上に少なくとも1つの開口部を有していなければならない。

10

複数の開口部が上面上に配置されている場合、包装用コンテナのカバー部材を移動させて、各ケースにおいて主要面内の開口部の1つを閉鎖部材内の開口部と位置合せされた状態にもっていくことができるようにすることが可能である。開口部が異なる仕切りと結びつけられているかぎり、主要表面のこれらの開口部又は閉鎖部材内の開口部を、複数の仕切りからの流動製品の同時注ぎ込みが可能であってこれらを混合できるような形で配置することも同様に可能である。

上述のように、関係する容器内に仕切りを設ける配置の場合、この仕切りは、その開口部が全て容器の上面上に存在することになるように、1つの面すなわち上面上に存在するような形で配置され得る。それでも、開口部が容器の異なる面上に存在するように、横断壁を

20

導入することも可能である。例えば、容器を2つの容器区分に分割するよう、上面上に対して平行に横断壁を配置することが可能である。この場合、上面上及び反対側の第2の面上に1つの開口部を具備することができる。

したがって、上面上に1つ、ベース表面上に1つの計2つのカバー部材が存在する。関係する容器には更に、充てん機の中で注ぎ込まれた製品の充てんを受けられるようにする更なる開口部が備わっていてよい。これらの開口部は好ましくは、充てんプロセスをできるかぎりスピードアップするため、ユーザーが関係する製品を中に注ぎ込むための開口部よりも大きいものである。本発明の1つの好ましい実施形態においては、上面上と反対側にあるベースは、関係する容器がそのベース表面全体にわたり充てんするためにアクセス可能となるように、取外しできる。このベースは、例えばのり付け、テンション下で

30

の保持又は融合などの既知の措置により取り付けることができる。

上面上のすぐ反対側に、関係する包装用コンテナのカバー部材が適用される。関係するカバー部材は、カバーされる上面上の形状を正確に覆うような形状を有することができるが、上面上の一区分を覆われていない状態に残すよう、より小さく実施することも可能である。いずれにせよ、これは、密封取外し後に流動製品の望ましくない流出を防止するため少なくとも1つの位置で上面上において全ての開口部を覆うことができるような形状及びバランスにされていなくてはならず、又、全ての開口部からの流動製品の注ぎ込みを可能にするため前記カバー部材の中の開口部と上面上内の全ての開口部が選択的に位置合せされるような位置を有していなくてはならない。

カバー部材の機能を確実なものとするためには、カバー部材は、それにより覆われている開口部から流動製品が横方向に流れ出すのを避けるように、コンテナの上面上の対面する側に直接置かれていなければならない。側面図を見ればわかるように、関係するカバー部材は、平坦なディスクとして、又は好ましくは、関係する容器の側壁の少なくとも一部分にまで達する側方スカート区分及びカバーを伴うフタとして、開発され得る。関係するカバー部材は、閉鎖手段の一部として回転運動への備えがあるかぎりにおいて、回転継手を介して、関係する容器に連結され得る。このような回転継手は、例えば、容器上のカバー部材の問題のないはめ込みを確実なものとするため関係する容器の上面上内の対応する穴から滑り出すことがないようにしている、この穴を通して導かれる、カバーの中心又はそのコーナー内であつその端部にある肥厚部分を通る突出部分として、単一部品として配置され得る。関係するカバー部材は同様に、溝及びリム配置を用いて容器に連結され得る。こ

40

50

れと共に、溝又はリムを容器の側壁の少なくとも1区分の上縁部上に配置することができ、カバー部分が押しつけられた時点でその中に、このカバー部材の対応する横方向溝及びリムが係合する。関係する容器の形状及び溝及びリムの配置に応じて、この設計は、カバー部材と容器の互いに向かった閉鎖又はそれらの横方向滑動における回転運動を可能にしている。この要領で、上面が円形に作成された場合、関係する容器に対して360度の角度にわたり意のままにカバーが回転され得るようにカバーのスカート区分上にリムが係合するように、円形側壁のまわりに1つのリムを配置することが、特に有利な実施形態において可能である。同様に例えば、上面の中心の隆起した区分上で、容器の溝及びリム配置を適用することも又可能である。この設計の場合、カバー部材はその中心に、上部表面に面する凹部を有しているか、又は、上面の隆起した区分が中に係合し得る貫通開口部を有している。この設計では、上面内の開口部は、例えば隆起区分のまわりにまとまった状態で位置づけられる。リムを別途製造し既知の措置を用いてカバー部材上及び/又は容器上に取り付けることもでき、そうでなければこれらのリムをカバー及び/又は容器との単一部品として開発される。

10

容器及びカバー部材は、例えば、流動製品を関係する容器に充てんするためにカバー又は容器に損傷を与えることなく、カバー部材を数度取り外すことが可能であるように設計することもできる。更に、容器及びカバー部材には、シールの取外し後カバー部材を容器に対して1つの位置に拘束することができるようにするため、1つの突部と第2の部材内のそれに対応する凹部を具備することができ、ここで容器の上面内の全ての開口部は前記1つの位置でカバーされている。

20

関係するシールを、容器及びカバー部材上に同時に取り付けることが可能である。こうすることによりカバーと容器の相対的な動きが防がれ、かくして、少なくとも1つの開口部が容器の上面内の単数又は複数の開口部と位置が合う状態になることはあり得ず、そのためいかなる注ぎ込み製品も流れ出し得なくなる。関係するシールは、充てんプロセスの一部として、充てんの間、前又は後に適用され、かくして、関係する包装用コンテナにおける流動製品での満杯度及びその無欠性を示す表示手段としても役立つ。かくして、消費者は、1つの製品を購入する時点で確証を得ることになる。

有利な実施形態においては、シールは付加的に、注ぎ込み開口部の汚損を避けるため、カバー部材内の開口部を閉じる。

シール上には更に、エンドユーザーによる単純なシール取外しを可能にする捕握ゾーンが配置されていてよい。好ましい実施形態においては、この捕握ゾーンは、カバー部材中の単数又は複数の開口部を閉じるシールの一部域と同一である。この設計は、閉鎖領域がはっきりと見えしたがって捕握機能をユーザーが容易に理解し閉鎖領域が特にアクセス可能であることから、有利なものである。更に材料コストが低減される。

30

本発明の範囲内でシールの異なる形状及び設計が可能である。例えば、関係するシールは、関係するカバー部材の周囲区分全体にわたり、又特に有利な実施形態においては全周にわたり、容器をカバー部材に連結することができる。更に、シールは、関係する容器の側面に至るまで延びることができる。

関係するシールは、単一の又は複数の区分を含むことができる。又これは、1つのストリップとしてカバー部材から離れて延びることができる。好ましくはシールが複数の区分を含む場合、複数の捕握ゾーンを具備することが可能である。同様にして、カバー部材内の開口部をカバーするための複数のゾーンを具備することもできる。

40

シール手段は好ましくは密封用ストリップとして実施される。これは、紙、樹脂製フィルム又は接着フィルムといった平坦な材料から有利に製造できる。この設計により、容器及びカバー部材上への関係するシールの特に融通性のある可変的な利用が可能となる。本発明に従った包装用コンテナにはさらに、製品ラベルを具備することも可能である。このようなラベルは、容器の単数又は複数の側面に貼ることもできるし、又は側壁の全周囲内で容器を閉じ込めることもできる。

本発明の好ましい実施形態においては、密封用ストリップとして開発された密封手段及びラベルは、単一の要素すなわち1つの初期部品として開発され得る。この場合、シールス

50

トリップは、密封用ストリップの部域をラベルの部域から分離するよう初期部品内にせん孔が押し抜かれるか又は脆弱ラインがスクラッチされるという点で、ラベルに対し離脱可能な形で連結されている。このせん孔又は脆弱ラインは、設定された引裂ラインとして作用し、これに沿ってシールは、取外された時点でラベルから離脱させられる。更に、密封用ストリップとラベルは、解放可能な取付け部域がカバー部材から容器への遷移部分の上に主として存在するような形で、カバー部材及び容器の上に適用され得る。これと共に、カバー部材及び容器の動きは、解放可能な連結によって防止される。関係する単一部品設計は、ラベル及び密封用ストリップの同時利用を容易にし、関係する密封用ストリップのものに比べラベルの延長が通常更に大きいものであることから、密封用ストリップのより単純かつより精確な位置づけを可能にする。関係する密封用ストリップが取付けられた状態

10

でラベルは、より大きいシート又はウェブから押抜きされ得る。このような場合、押し抜き及びせん孔又はスクラッチングは有利には、1つのプロセスにおいて行なうことができる。

以下の図は、本発明のいくつかの好ましい設計実施形態を説明するためのものである。

図1は、円筒形の容器及び回転部材を伴う本発明の第1の好ましい設計の立体分解図である。

図2は、六角形の容器と回転するカバー部材を伴う、本発明の第2の好ましい設計の立体分解図である。

図3は、矩形の容器及び滑動するカバー部材を伴う、本発明の第3の好ましい設計の立体分解図である。

20

図1は、本発明の第1の設計を示す。全体として1という番号でマークされている包装用コンテナは、注ぎ込まれた製品の取込み用の容器2、カバー部材3、第2のカバー部材、すなわち容器2のベース6、シール4及びラベル5を含んで成る。

容器2は、中空シリンダであり、上面である第1の面7を有する。4つの長さ方向に走る仕切り又は区分が、コンテナ内に配置された2つの十字形の間壁8（破線として示されている）によって分離されている。4つの円形開口部9が第1の面7上に配置され、仕切りの1つへと導いている。第1の面7を直接縁取っている関係する円筒形の側壁のまわりを走る7つのへこみ10が存在する。この上に配置されたリム11は、溝様ゾーン12を分割している。更に、へこみの部域内には切欠き13が配置されている。

関係する容器2は、包装技術において一般に知られている材料から製造することができる。例えば、これは合成材料から押し出し加工することができる。更に、関係する容器の全ての特性の単一部品設計が好ましい。

30

カバー部材3は、カバー部材14及びその周囲上に配置された下向きに延びる円形スカート15を閉じ込めている。スカート15の内径は実質的に、容器2のへこみ10の外径に対応する。リム（図示せず）が、このスカート部材15の内周上でその下端部に配置されている。更にカバー部材の中に配置された1つの開口部16が存在する。この実施形態においては、関係する開口部は、関係する容器内の開口部9と同じ形状及びサイズをもつ。カバー部材3が容器2上にセットされた場合、スカート部材15の内周上のリムは溝-ゾーン12の中に係合し、かくしてカバー部材14が関係するコンテナから離れ落ちることがないように固定する。この位置において、カバー部材14は直接第1の面7の上に直接存在して、開口部9の信頼性の高い閉鎖を確保している。関係するカバー部材は360度にわたり回転でき、かくして開口部16は開口部9の各々と位置合せされ得るようになっている。

40

したがって、開口部9及び16は、それらが全てカバー3及び容器2の回転の中心から等距離のところにくるように配置されている。その上、少なくとも2つの開口部9は、開口部16の直径よりも幅広の更なるゾーン17が結果として得られるように、互いから分離されている。

更に、スカート15の内周上には膨らみ（図示せず）が存在する。これは開口部16に対して、カバー部材の回転に伴って、開口部16が更なるゾーン17上に来た時点でそれがへこみ13の中に係合するような形で配置されている。このようにして、カバー部材は、

50

全ての開口部 9 が閉鎖されている位置で阻止される。スカート部材内の膨らみ及びへこみ 13 は、これら 2 つの要素の係合を解除するためにユーザーがわずかな力を加えなくてはならないような形でバランスがとられている。

本発明においては、シール 4 は、密封用ストリップとして実施される。この密封用ストリップ 4 は、実質的に一定の幅をもつ細長い形状を有し、その端部の 1 つに側方に突出したゾーン 18 を有する。容器 2 及びカバー部材 3 の上で密封用ストリップ 4 は、シリンダ 2 の主区分とスカート部材 15 の下縁部の間で実質的にその長さ全体にわたって形成された接合箇所をカバーするような形で配置され、かくしてそれはこの接合箇所及びクロージューア手段のカバー区分 14 に対して平行に走っている。側方に突出するゾーン 18 は、カバー部材 14 の方向にスカート部材 15 に沿って走り、スカート部材 15 とカバー区分 14 10 の間でリム上にたれ下がり、その端部部域で開口部 16 を閉じている。この端部部域は有利には、開口部 16 を高い信頼性で閉鎖するよう、側方に突出するゾーン 18 の肩部よりも幅広である。側方に突出するゾーン 18 のこの端部ゾーンは、同時に、密封用ストリップ 4 が取外された時の捕握区分としても役立つ。関係するシールストリップ 4 は、樹脂製フィルムから作られる。これには包装用コンテナ 1 に面する側面上で普通の接着剤がコーティングされており、そのためその全表面部域上で容器 2 及びカバー部材 3 に連結することができる。

更に、関係するコンテナ上にはラベル 5 が配置されている。これは基本的に矩形の形状をもち、容器 2 のまわりに一回巻きつけられているため、その円筒形側面の大部分をカバーする。関係するラベルの上には、コンテナ及び / 又は仕切りの中に入っている商品を示し 20 、関係する会社の詳細及びそれに加えて更に詳しい情報を提供するか、又は図形要素を示す印刷が施されている可能性がある。

ここで関係する設計においては、ラベルは同様にして、密封用ストリップとの単一部分として実施されており、樹脂製フィルムで作られている。密封用ストリップ 4 及びラベル 5 は、引裂ライン 19 を用いて離脱可能な形で連結されている。例えば、関係する引裂ラインを、関係するフィルム上のへこみを通る脆弱ラインとして開発することが可能である。代替的には、引裂ラインを樹脂製フィルム内のせん孔ラインによって作り出すこともできる。両方のプロセスの組合せも同様可能である。

円筒形コンテナの上面と反対の面が、当該設計では省かれている。その代り、側方表面の周囲の内部リム上に溝が備わり、この中に、対応するリム又はその側方リムを伴うベース 30 が係合できる。例えば、関係する溝のテンション付与又は保持力を用いて接着又は融合を通して側方表面に対し通常的手段でベースを取り付けることができる。

当然のことながら、上述の実施形態を修正することも可能である。仕切りの数を多くすることも少なくすることもできる。各々の仕切りは、単数又は複数の開口部 9 を有することができる。リム - 溝システムの代りに回転継手を使用することも可能である。

シールを製造する場合、関係する回転角度は 360 度未満に制限され得る。シールストリップ 4 は、関係するシリンダの周囲の一区分のみの上に誘導され得る。側方に突出するゾーンは端部部域において終結する必要はなく、その代り例えばカバー区分全体にわたり弓形に延びていてよい。

図 2 は、六角形コンテナが製造される、本発明の設計を示す。図 1 と同じ参照番号は、同じ特徴を示す。 40

容器 2 は六角形をしており、通常的位置ではその上面であり平面図においては六角形である第 1 の面 7 を有する。合計 6 つの長さ方向の区分つまり仕切りは、容器 2 の内側に長さ方向に配置された（破線で示されている）3 つの中間壁 8 によって分離されている。5 つの円形開口部 9 は上面 7 上に配置され、各々 1 つの仕切りまで導き、各々上面の中心点から等距離にある。

上面の中心には、その側壁上にとり囲み溝 22 を備えた隆起部材 20 が存在する。カバー部材 3 は同様にして六角形の形をしており、上面 7 上の円筒形のもち上った部材 20 の上面 7 と同じサイズを有する。カバー部材 3 は、その中心において、その厚み全体を通る円形の中央開口部を有し、前記穴の内径は、上面 7 上の円筒形の隆起部材 20 の外径に実質 50

的に対応する。円形リムはこの中央開口部 23 の内部周囲上に配置され、このリムは、円筒形の隆起部材 20 の中で上面 7 から溝 22 が分離されているのと全く同じように、上面 7 に面するカバー部材の表面から分離されている。

カバー部材 3 が容器 2 上にセットされている場合、リム 24 は、中央開口部 23 の内周上にて、隆起部材 20 の溝 22 の中に係合し、かくしてカバー部材 3 が容器 2 から落ちないように固定している。この位置において、上面 7 と面するカバー部材の表面は、開口部 9 の信頼性の高い閉鎖を確保するべく、前記上面 7 の上に直接存在していなければならない。カバー部材 3 は、開口部 16 が開口部 9 のいずれか 1 つと心合せされ得るような形で 360 度の角度にわたり回転することができる。円筒形の隆起部材 20 及び中央開口部 23 の中のへこみ 13 及び対応する膨らみは、全ての開口部 9 が閉鎖されている、カバー部材と上面 7 の相対的な少なくとも 1 つの位置を可能にする。

10

ここで示されている設計においては、開口部 9 をもたない仕切りは流動製品の取込みのために設計されていない。これについては、カバー部材中の開口部 16 がこの仕切りより上にくるような形で、全ての開口部 9 の閉鎖のための 1 つの位置を適切に選択することができる。

図 2 は更に、ラベル 5 に離脱可能な形で連結されている密封用ストリップ 4 としての本発明に従ったシールを示している。ラベル 5 及びシール 4 の取付けは、実質的に、図 1 に示されているものに対応する。

この設計については異なる変形形態も同様に可能である。図 1 に示されているようなリム及び溝システムも使用可能である。仕切りの数は増減でき、存在する仕切りの数は、関係するコンテナの側面の数と異なってもよいし、又、全ての仕切りを使用することもできる。

20

図 3 は、正方形の包装用コンテナが製造された本発明のもう 1 つの設計を示す。図 1 と同じ参照番号は同じ特徴を示す。

容器 2 は、平面図において正方形の輪郭をもつ。本発明においては、中間壁 8 が、各々、上面 7 上に開口部 9 をもつ同じ又は異なるサイズの 2 つの区分又は仕切りを分割するのに役立つ。容器 2 は、リム 17 と溝様ゾーン 12 を伴う 2 つのへこみ 10 を有する。カバー部材 3 は、図 1 と同じように配置された正方形のカバー区分 14 及び 2 つのスカート区分 15 を含んで成る。関係するカバー部分が容器 2 上に置かれている場合、リム及び溝は図 1 と同じ機能をもち、容器 2 上のカバー部材 3 の横方向の動きを可能にする。この要領で、開口部 16 が開口部 9 の 1 つと心合せされた状態でカバー部材 3 の動きにより、流動製品が注ぎ込まれる。カバー部材 3 は同様に、全ての開口部 9 がカバー区分 14 によってカバーされている少なくとも 1 つの位置へと連れてくることができる。

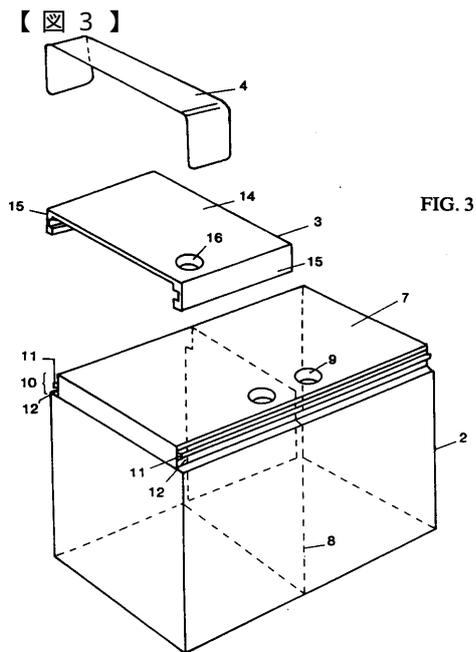
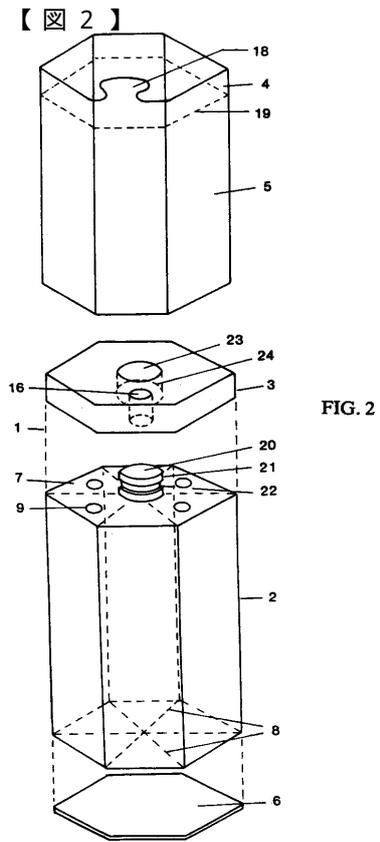
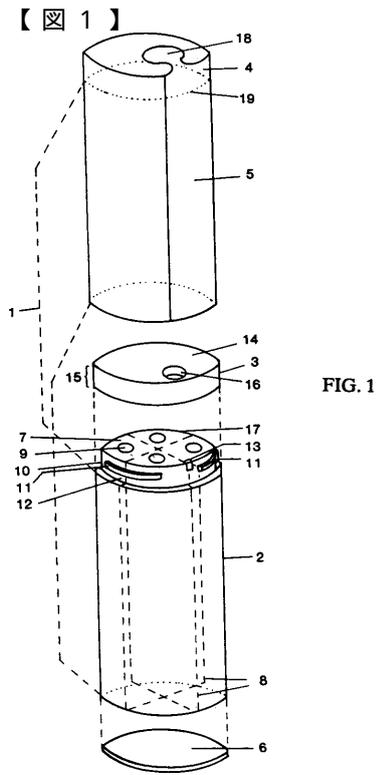
30

図 3 に示されている設計においては、密封用ストリップ 4 は、長手方向の側壁から、この側壁に結びつけられたスカート区分 15、カバー区分、もう 1 つの側壁のスカート区分 15 及びこのその他の長手方向側壁の上に延びるストラップとして開発されており、かくして密封用ストリップは同様にカバー部材内の開口部 16 をカバーする。ここでは、カバー部材は、全ての開口部 9 がカバーされる阻止可能な初期位置にある。

この設計については異なる変形形態も可能である。関係するコンテナは、例えば中間壁無しで実施可能である。図 1 に示されているものに類似した密封用ストリップは、同様に容器 2 の 4 つの側面全てのまわりにも誘導され得るし、或いは又少なくともスカート部材からコンテナまでの遷移ゾーンの中では、スカート区分の全幅にわたり接合箇所全体をカバーするほどに広いものであってもよい。密封用ストリップは、移動可能な形で配置されている開口部 16 をカバーしかつ / 又は捕握部分として役立つ側方に突出した分離したゾーンを有することもできる。更なる変形実施形態としては、密封用ストリップで 1 つのスカート部材のみを固定することも考えられる。

40

図 3 に示した例では、密封用ストリップはラベル 5 から分離された単体として示されている。しかしながら、図 1 にある通り、ラベル及びシールストリップを単一部品として開発することも可能である。



---

フロントページの続き

(72)発明者 フェットテ, マンフレット

ドイツ連邦共和国、デー - 3 2 3 6 1 プロイシッシュ・オルデンドルフ、ノイエ・ミュレ・ヴェーク 5

審査官 山崎 勝司

(56)参考文献 実開昭62 - 017582 (JP, U)

仏国特許出願公開第01417537 (FR, A1)

実公昭51 - 015699 (JP, Y2)

実開昭62 - 134840 (JP, U)

実公昭40 - 021109 (JP, Y1)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

B65D 47/26

B65D 55/06

B65D 77/20